

第19回 緑の市民委員会

会議録

1. 日時 平成23年 4月25日(月) 9:30~11:00

2. 場所 生駒市役所 401・402会議室

3. 出席者

- (委員) 久委員長、 下村副委員長、 日高副委員長、 磯貝委員、 稲葉委員、
大鋸委員、 倉品委員、 児玉委員、 林原委員、 藤田委員、
山田委員、 岩井委員、 北島委員
- (事務局) 吉岡都市整備部長、 前川みどり景観課長、 西川花のまちづくりセンター所長、
西本みどり景観課課長補佐、 高峰花のまちづくりセンター主査、
巽みどり景観課緑化推進係長、 福山みどり景観課主査、 坂東みどり景観課主任
平井環境政策課長 矢田ECO-net生駒運営委員

4. 議事内容

1 開 会

2 委嘱式

3 市長挨拶

4 各委員の紹介

5 委員長等の選出について

6 案 件

(1) 緑の市民委員会設置要綱の一部改正について

(2) 平成23年度みどり景観課所管の事業概要について

(3) 花と緑の景観まちづくりコンテストについて

(4) みどりのカーテンひろめ隊&みどりのカーテンコンテスト事業について

(5) その他

【事務局】 まずは、委嘱辞令交付を行う。

〈市長より委員に委嘱辞令交付〉

【市長】 挨拶

【事務局】 市長は公務のため退席。

現時点で委員 13 名のうち 12 名出席 1 名は遅れると連絡を受けている。この委員会は成立する。資料確認、委員紹介、職員紹介

委員長、副委員長選出

【稲葉委員】 緑の基本計画策定段階からかかわっている久委員を委員長に推薦する。堺市等大阪府下の市でまちづくり関連の御指導を多く手がけておられる。本委員会でも 4 年間委員長を務められた実績があり、引き続きお願いしたい。

【委員一同】 異議なし。

【事務局】 委員長を久委員に決定する。要綱第 6 条第 2 項において、副委員長は委員長の指名によるのであるので、久委員長に指名いただく。

【久委員】 副委員長には、前回から引き続き下村委員と日高委員にお願いする。

【事務局】 委員長は久委員、副委員長は下村委員と日高委員に決定する。

【久委員長】 挨拶

【下村副委員長】 挨拶

【日高副委員長】 挨拶

【事務局】 議事進行については、委員長にお願いする。

【久委員長】 議題の 6、案件にそって進める。案件 1 の緑の市民委員会委員定数改正について、事務局から説明をお願いする。

【事務局】 案件 1 の説明

【久委員長】 只今の説明に意見、質問は。
それでは、定数を 15 名以内に改正する。
案件 2 のみどり景観課の平成 23 年度事業概要について、事務局からの説明をお願いする。

【事務局】 案件 2 の説明

【久委員長】 今期、初めての方もおられる。質問はあるか。

【委員一同】 質問なし。

【久委員長】 案件 3 の花と緑の景観まちづくりコンテストの説明を事務局からお願いする。

【事務局】 案件 3 の説明 コンテスト審査要領等の説明

【久委員長】 全体的に御意見御質問はあるか。

【磯貝委員】 例年審査の時期について議論があるが、今年工夫された点はあるか。

- 【事務局】 市民交流サロンでも話し合っていたところである。花のきれいな時期、例えば春に審査できないかということだが、今のところ秋のオータムイベントの時期に合わせて審査することとする。
- 【久委員長】 年度という縛りがあるので、なかなかむずかしい。
- 【磯貝委員】 応募される方は一番いい時季に写真を撮られる。持続性がむずかしい。現地審査はいつ行うのか日程がオープンであるほうがよい。
- 【事務局】 応募要領に現地審査は9月行うと明記している。
- 【久委員長】 毎年、個人住宅部門で応募されているバラは見られないが、その他の花でデザインされているところは、工夫していただけるのではないかと。
- 【稲葉委員】 通年きれいにすることを考えて応募してほしい。9月という厳しい時期なのに、きれいに管理されているところもある。中にはがっかりさせられる現場もあるので、皆さんがもう少し頑張っていたらいいことを期待する。
- 【久委員長】 花にとって一番厳しい時期に審査している。
4年目に入ったので、いろいろと試行錯誤しながらより充実した内容になっている。
現地審査の委員を決めたい。今年は委員の数が減っているため、2名に1名という割合である。
- 【磯貝委員】 花にくわしい方に審査を行ってもらおうほうが良い。
- 【稲葉委員】 今年は委員が少ないので、できたら皆さんで審査したほうが良い。行った者の意見で審査されるのもいかなものかと思う。
- 【久委員長】 できるだけたくさんの方がという意見があるが、事務局としてはどうか。
- 【事務局】 狭い道があるが、ワンボックス2,3台を用意すれば行ける。全員行くことになれば、そのように対応させていただく。
- 【大鍋委員】 以前は確か、都合がつく方全員が行かせていただいた。
- 【久委員長】 特に手をあげる方が居られないのであれば、都合のつく方に行っていただくことにしては。書類よりも、現地に行った方が実感があることは確か。
- 【磯貝委員】 後で調整してはどうか。
- 【林原委員】 前年から行かれている方と、新任の方は参加してもらってはいかがか。
- 【久委員長】 強制ではなく、できるだけ多くの方に積極的に出てもらったらという提案であった。
日程が決まったら、できるだけ多くの委員に参加いただきたい。
案件4の緑のカーテンひろめ隊は、みどり景観課の所管ではなく、環境の担当であるが、委員の皆さんに御協力いただきたいということである。まず、みどり景観課の方から説明をいただく。
- 【事務局】 緑のカーテンひろめ隊&緑のカーテンコンテスト事業について、この後担当部局から説明があるが、緑の基本計画における6つの領域のうち、まちなかの民間施設・公共施設の緑、庭先・窓

辺・まちかどの緑の領域における取組に関連することと、緑のカーテンコンテストの審査に対しての協力要請があったことに伴い、本委員会の案件とさせていただき、御審議をいただくものである。

【久委員長】 生駒市環境基本計画推進会議推進事務局から説明をお願いします。

【環境政策課長】 通称ECO-net(エコネット)生駒である。新しい環境基本計画を平成21年3月に策定した。平成21年10月31日ECO-net生駒に、市民、団体、事業者、生駒市自体も構成団体として入っている。

推進会議で取り組む事業として、緑のカーテンひろめ隊&緑のカーテンコンテストを取り組むこととなった。詳細について、ECO-net生駒の運営委員矢田氏から説明いただく。

【矢田】 緑のカーテンひろめ隊・緑のカーテンコンテスト実施要綱の説明

つる性の植物が太陽光をさえぎる。単にさえぎるだけでなく、みどりのカーテンを育てることにより植物の蒸散作用により気温が下がり、結果的に日中のエアコンの使用を抑える効果が期待できる。緑のカーテンをつくることにより、環境意識を育むことができる。

一人でも多くの方に試みていただきたいので、種と育て方・効用を書いたリーフレット500セットを配布したいと考えている。ECO-netの事業のほか、スカイウォークで配布する。

リーフレットを市内の公共施設に設置し、種をお持ちの方は読んで作ってもらえるようにした。種を配りカーテンをつくるという企画のほか、コンテストを企画する。配った種でも買ったものでも緑のカーテンであれば応募できる。個人宅、事業所、公共施設でも応募できる。応募期間は8月中の1ヶ月間を予定している。応募について、単に写真が良いというだけではなく、どういう効果が得られたか、どんな感想であったか、レポートとともに応募してもらう。

皆様をお願いしたいのは、審査である。9月にECO-netのメンバーと、緑の市民委員会の委員の方と生駒市職員で構成された「緑のカーテン審査委員会」で審査方法・賞を決定したいと考えている。

10月31日前後の(ECO-net発足)周年行事の日に表彰式を予定している。表彰して終わりというのではなく、効果を広めるため本庁舎をはじめ公共施設で巡回展をしたいと考えている。

試作として本庁舎の3階に緑のカーテンの種を植えたので、機会があればご覧いただきたい。

今回は、単独開催だが、来年度は景観まちづくりコンテストと同時開催をお願いしたい。

まちみち環境部会「みんなでつくる緑潤うまち」、エネルギー環境部会の「CO2、CO2(コツコツ)減らし、省エネでエコマネーをゲット!」という企画。CO2を減らすために、2つのプロジェクトが動いているということに合わせて報告する。

【久委員長】 審査委員会に加わっていただきたいという要請を了承いただけるか。

【稲葉委員】 街なかの見えるところ、外から見えるところでない対象とならないのか。窓辺ということで外から見えないこともあるが、それでも良いか。

【矢田】 カーテンは中である可能性が多い。写真で判定するので、写真の中でカーテンになっておれば対象となる。

【稲葉委員】 上から下に垂らす植物もあるが、それも対象となるか。

【矢田】 緑のカーテンができていれば良い。

【事務局】 配布するのはゴーヤとアサガオであるが、応募は限定していない。

【大鑑委員】 何名選出するのか。

【矢田】 2名と考えている。都市整備部、生活環境部の部長と緑の市民委員会から2名、ECO-netから4名程度、計8名程度で審査する予定。

【林原委員】 配布されている種以外ではどうか。

【矢田】 カーテンができていればOK。

【磯貝委員】 現地審査はするのか。

【矢田】 写真審査のみ。初年度なので、啓発事業として緑のカーテンを広めたい。

【日高副委員長】 今年は初年度なのでこの方法で、来年度はぜひ一緒に現地審査も含めて審査したい。

【矢田】 できれば、共催して皆様のお知恵を拝借しないとできないことであると思っている。

【久委員長】 私自身、環境の仕事もこの緑の仕事もしている。なかなか両者が交わってこないのが難点。環境の方は意識の高い方がされている。もっと広めていくには、まず、意識の近い緑と環境と一緒にやっていくきっかけとして良い。

【下村副委員長】 今回は緑のカーテンだが、屋上緑化もある。目的が何か、である。屋上緑化の目的は、ヒートアイランド現象の緩和で、CO₂の削減、省エネルギーである。そういった目的でされているが、景観的にはあまり良くない。もう少し、景観面や利用面でも良いものが屋上緑化に求められていると思っている。

見えないところを写真で審査するので、評価基準をどう設けるかである。写真の取り方で、立派に育っているゴーヤだけ撮られてもどれくらいの面積かわからない。もっと引いて広範囲が写っている写真を応募してもらうなど基準がいる。

府からの調査依頼もあって、小学校、事業所、研究室で実際に調査した。室温は2 から8下がったので効果があるし、表面温度はものすごく効果があるのでぜひ進めていただきたい。

評価基準はCO₂削減に置くと難しいが、立派に育って葉が多いことがCO₂をたくさん消費しているとみなすなど、審査委員会を設けられるときには考えてもらいたい。

【矢田】 写真審査については、全景がわかるものと詳細がわかるもの2枚の添付をお願いする。

児童とともにという御意見が出ていたが、関西電力の協力で生駒台小学校に雨水タンクを設置しており、雨水タンクの水を使って水やりをしているという状況で環境教育とともに進めるという話がある。

できるだけ、今頂戴した御意見は生かしていきたいと考えている。

【久委員長】 情報提供したい。東大阪の環境基金は、庁舎の省エネ分が基金に積み立てる仕組みになっている。庁舎の方が省エネで頑張れば頑張るほど基金が積み上がっていくという事。

そのお金を使って、一施設一回限りになるが、環境の取り組みをすることに対して補助金を出すことができる。

このなかで、毎年かなりの数の小中学校・幼稚園が応募される。失礼な言い方だが、補助金がもらえるとなると、口コミで先生方が応募されるので数十校に緑のカーテンが広まっている。

せっかく補助金を差し上げるのだから、学校で緑のカーテンを広めるだけでなく、地域の方々にもその動きを広げてもらいたいと考え、学校に地域の方々に来られるときにPRをしていただく。そうすると、自分もやってみたくてと言われる方が出てきているという報告がある。学校が核とな

って地域と繋がるとか、児童・生徒が家で育てるという効果も期待できる。

今回も、「自分が頑張っています。」というだけでなく、どれだけ広めたかでポイントアップするような審査項目も作ってみてはどうか。

【下村副委員長】 壁面緑化は含むのか？

【矢田】 外壁、塀としているので、可能である。

【下村副委員長】 蔓性のつたなどは草本ではないが。

【矢田】 調整する。

【下村副委員長】 立ち上がっていく植物で窓や壁面を覆うということか。

【環境政策課長】 狭義でとらえた緑のカーテンというわけではなく、様々な手法や形を知るために広く市民の方々に問いかけたい。

パッションフルーツ、へちま、木もの、一年草、多年草を問わない。つる性のものであれば広く採用したい。

我々がまったく知らない色々な新しい手法を知りたい。審査方法など御意見をいただくために、緑の市民委員の中から2名選出していただきたい。

【久委員長】 創意工夫で面白いものができあがるのと、種から育てるので誰でもできるという二つのタイプのものがある。

【下村副委員長】 何件出てくるかわからないが、大規模なものと家庭の窓とでは比較がしにくい。部門別で選ぶ方が良い。

【環境政策課長】 公共部門、個人部門など事務局でも案は作成しているが、全部決めるのではなく委員の方々の意見も尊重させていただこうと思っている。

【矢田】 応募作品によって、ユニークな部門が見つかる可能性もある。

【久委員長】 例えが正しいかわからないが、写真と文章という意味では見合いの釣書のようなもので、いい写真いい文章があれば評価が高いかと思われる。それもテクニクである。

【磯貝委員】 すばらしいこと。ぜひやっていただきたい。学校を教育委員会を巻き込んででもやっていけばよい。子どもたちが持ち帰った種を翌年は自宅に植えてもらえる。そういった取り組みをしていただきたい。

【環境政策課長】 その他のところに で書かせていただいているが、市役所本庁舎、幼稚園など・・・と書いてあり、幼稚園だけ目立っている。幼稚園9園あるが、昨年度雨水タンクをE C O - net 生駒で設置している。それを活用してもらおう一つの方法として幼稚園への呼びかけをしていこうと思っている。言われているように、学校関係は広まっていく可能性が高いので、幼稚園、小学校、中学校、保育園も含めて声をかけていきたい。

【林原委員】 目的、効用のところに大震災のことを入れてはどうか。間接的に省エネや節電に繋がる。時流に合うという観点から入ると良いと思う。

【大鍋委員】 関西にいる者として、具体的に何をすれば良いかということ考えた時に、節電に繋がるとい

うことはとてもいいことである。

【久委員長】 そのあたりは審査委員会でしっかりと議論していただくこととして、今日 2 名選出させていただくほうが良いか。

【環境政策課長】 後日でも良い。

【事務局】 集まって協議いただく機会もないので、今日決めていただく方が良い。

【久委員長】 協力していただける方はおられるか。

【稲葉委員】 大鋸委員と 2 人です。

【大鋸委員】 協力させていただく。

【久委員長】 稲葉委員と大鋸委員をお願いします。
その他何もなければ、事務局から連絡はあるか。

【事務局】 次回は 9 月か 10 月ごろを予定している。日程決まれば連絡する。

【久委員長】 昨年度までは、色々と制度の検討等で頻繁に集まっていただく機会があったが、今年度は少し減る。それでは、チラシ等配っていただいているので P R を。

【事務局】 御手元の薄ピンクのチラシは、花のまちづくりセンターふるーらむ 10 周年記念 スプリングイベントのお知らせ。園芸研究家の吉田健一氏の記念講演を予定している。チラシには間に合わなかったが地元幼稚園児にコスモスの種を入れたエコ風船を飛ばしてもらおうフィナーレが決定した。皆様の御参加をお願いします。

花とみどりの楽校第 3 期生募集ということで、広報掲載欄をお配りしている。この中にも修了生の方がおられるが、御近所お知り合いの方に御紹介いただければと思っている。

この楽校をコーディネートしていただいている下村副委員長もおられるので、ぜひ、よろしくお願ひしたい。

【岩井委員】 チラシがあったはず。公民館や施設に置いてあった。

【久委員長】 いつも抽選になるということで、あまり P R するのも難しいところである。より、たくさんの方に知っていただくというのも必要である。下村副委員長何か一言。

【下村副委員長】 広報に書いておられる「世の中を見る目」まではわからないが、「まちの中を見る目」は変わるので、ご近所の方やお知り合いに薦めていただきたい。

【久委員長】 さきほど、緑のカーテンの話が出たときに思ったのだが、近畿大学の米本氏のアイデアで近畿大学の立体駐車場は、花が壁から生えているようにデザインされている。大々的な仕掛けがいるが、このような駐車場も面白いかなと思う。近畿大学東大阪のキャンパスにお越しの際は見ていただけたらと思う。

P R のほう、みなさんのご協力をお願いしたい。

次回、コンテストの審査にお集まりいただくこととして、第 19 回生駒市緑の市民委員会を閉会する。